



2014 名古屋市消費生活フェア 報告

「歩く人」にやさしい街 コンパクトシティを一緒に創りましょう

コンパクトシティ 一つの提案

① 「歩く人」にやさしい
 ・徒歩圏内に学校・保育園・病院、などの公共施設やお店などを集約
 ・駅心から車を排除、路面電車や自転車道を整備

② 市民参加でインフラ整備・減災
 ・上下水道や道路・街の保守整備は、住民参加で

③ 低炭素化で温暖化対策
 公共施設を低炭素型に
 地域分散型・高効率発電・再生可能エネルギー発電



**空き家
対策**
 高度の工夫で公
 共福祉に役立て
 る

**リニア新
幹線**
 ...おぼろげ?



CANは、11/1(土)2(日)の両日、栄オアシス21にて開催された名古屋市消費生活フェアにブース出展しました。今年取り上げたのは、コンパクトシティ。パネル展示とアンケートによる対話を実施。2日間で、のべ9名の事務局が、191名の市民のみなさんと対話することができました。

コンパクトシティは、国も人口減、インフラ老朽化の対策として大きな柱にしています。CANとしては、「歩く人にやさしい」「市民参加」「低炭素化」をキーワードにあるべきコンパクトシティの姿を提案しました。また東京との巨大都市圏をめざすリニア中央新幹線問題についても問いかけました。以下、消費生活フェアの報告です。

設問 1. 「空き家」の増加について

名古屋市内 110 万戸の住宅のうち 13.2% (15 万戸) が空き家。そのうち 27.5% (4 万戸) が壊れたまま放置されている。(回答者数%)

- a. 知らなかった _____ 59%
- b. 知っていた _____ 19%
- c. 空き家があるのが目につき気になっていた _____ 20%
- d. 自分も空き家を抱え困っている _____ 1%

空き家問題は、人口減が背景にあります。しかし廃屋で「放置しておいた方が得」との税制上の問題があるのも事実です。制度的な改革を実施し、地主の理解をえて、行政やNPOが、住民のための子育て広場や高齢者のたまり場、市民農園等に活用することが期待されます。

コンパクトシティ

① 「歩く人」にやさしい

- ・徒歩圏内に学校・保育園、診療所等の公共施設やお店などを集約
- ・都心から車を排除、路面電車や自転車道を整備

徒歩圏内に学校、保育園、病院、などの公共施設やお店などを集約



都心から車を排除、路面電車や自転車道を整備

買い物を楽にしたい

広小路通りや路面電車を、

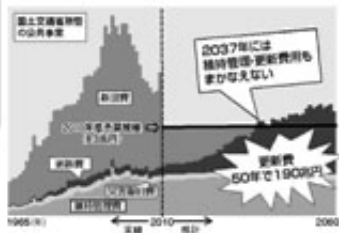


コンパクトシティ

② 市民参加でインフラ整備・減災

- ・上下水道や道路・橋の保守整備は、住民参加で

老朽化するインフラ、上下水道や道路・橋の保守整備は、住民の意志で優先順位をつけて保守整備



「命を守る」を最優先に、住民参加で「減災対策」を推進



コンパクトシティ

③ 低炭素化で温暖化対策推進

- 公共施設を低炭素型に
- 地域分散型・高効率発電・再生可能エネルギー発電

公共施設を低炭素型に

災害にも強い



街の空気がキレイで気持ちいい

地域分散型・高効率発電・再生可能エネルギー発電



設問 「あなたは 20 年後どんな街に住みたいですか」 (シールに書いて貼ってもらいました。)

- ・助け合って生きていける社会。空気のきれいな街に住みたい。幸せに暮らす♡♡
- ・隣の人との関係が薄くなっていて、あいさつもしない人が増えているので、人とのコミュニケーションがちゃんとあって暖かい街に住みたい

- ・ 緑豊かで老人（私たち）や若い人もゆったりとくつろげる、ゆとりある街に住みたいです！
- ・ 子育てしやすい街。安心して子どもが遊べる場所があり雨の日も！
- ・ 道が明るい街
- ・ 年をとっても安心してすめる。働きながら野菜を作りとかすめるところ
- ・ 公共交通機関が発達し、自然と動物と人間の共生が実現できている町に住みたい。
- ・ ハイテクな社会♡ リッチに暮らす♡

回答の中に「世代が違ってともに」「助け合って」「楽しい」「安全なまち」という言葉があるのにホットします。住みたいまちとは、助け合いのある安全で緑豊かなまち、ということでしょうか。

同じコンパクトシティでも、役人が机の上で線を引き、行政上の効率の視点から作る「収容所のようなまち」と市民参加で地域の伝統と地域性を生かしながら「助け合い」を基調に創るまちとは、大きく違います。働き、出会い、産み、育て、共に老いていくまち。住まう者が「ふるさと」と呼べるまちづくりを共に進めたいものです。

設問3. リニア中央新幹線をどう思いますか？

リニア中央新幹線の着工が認可されましたが、多くの問題点が指摘されています。あなたはどうか考えますか。（複数回答可、回答者人数）

- a. 東京と40分台で結ばれる経済波及効果ははかりしれない。一刻も早く実現を。
_____ 39人
- b. エネルギーの大量消費は、問題だ。（現在の新幹線の3倍以上）_____ 78人
- c. 「安全です」と繰り返し言うが、原発と時と同じ「安全神話」ではないか。（電磁波や長大トンネルのリスク）
_____ 46人
- d. 環境への影響が大きすぎる。（トンネル残土処理、地下水脈への影響、生物多様性の破壊）
_____ 80人
- e. エコパーク南アルプスの長大トンネルは、貴重な自然を環境を破壊する。
_____ 50人
- f. 需要見通しが甘過ぎる。人口減時代に採算が合わない。東海道新幹線と共倒れになる。
_____ 39人
- g. 9兆円以上と投資が多すぎる。
JR東海の経営破たんをまねきかねない。
_____ 33人
- h. まずすべきは、東海道新幹線の補強・更新、地震対策だ。_____ 45人
- i. ストロー現象で、東京一極集中に拍車をかけるだけだ。_____ 37人

リニア新幹線大丈夫？

なぜリニア？実績のある新幹方式やエアドレインも選択できるのに

エネルギーを消費しすぎます。時代遅れの計画だ！

問題だらけ、ストップして、検証しなせ



項目		
スピード	□	ロ東京と一体化、名古屋都市圏を突破 ? ストロー現象の危険、東京に吸収される ? 現在の新幹線方式でも300km/hのスピードは出せる ? エアドレインならリニアの半分の1のエネルギーで300km/hだせる
安全性	?	? 東海道は「安全」と言っている。 ? 電磁波への危険 ? 構造機、空荷重を減らす工事そのものの安全性。 ▲ 空荷重削減、事故が起これば大惨事に。
エネルギー	▲	在来新幹線の2倍以上のエネルギーを消費。
採算性	×	? 9兆円の巨大な投資、建設費はさらに増える可能性が、 ▲ 人口減少時代に採算の見通しはあわず、東海道新幹線も採算になりかねず、JR東海の破たんの可能性も...
環境	×	▲ 環境規制は、アセスメントにおいて「環境への重大な影響」を指摘しているにもかかわらず「促進」するだけで推進。 ? 大量に排出土の処理・処分のコストは、 ▲ 南アルプス、環境への悪影響。 ▲ 地盤への影響。 ? 生物多様性への影響。 ? 沿線住民の生活環境への影響。
ネットワーク	×	▲ ネットワーク性は全くない、災害時のバイパスの役割を果たさない。 ▲ 一部「静岡新幹線」として位置づけられているが、他の新幹線とのネットワーク性はない。
公共性	×	▲ JR東海の最速事業であるとして国会等での審議もされず、関係機関の審議が不十分なまま所管大臣が工事認可。 ▲ 地下40m大深度工事と地権者等の調査不備と誘引

「早く実現を」という方が一定数いる一方で、多くの方がエネルギーの大量消費や環境への影響について危惧をもたれていた。

公共交通機関に求められるのは「安全性」「利便性」「経済性」だ。そして「エネルギー」と「環境」も重要なキーワードとなる。リニア新幹線は、どの項目も ×? だ。最大のメリット「スピード」も従来の新幹線方式（鉄道と鉄輪）でも400kmが可能となりつつある。大電力を消費して浮上されるリニア方式が唯一の選択肢ではなくなってきているのだ。強い電磁波の発生による人体や生物への悪影響も指摘されている。今からでも遅くない、リニア新幹線計画を凍結し総合的に再検討をすべきだ。

（CANレポーター / 大村昌宏）